Child Friendly Project

http://www.mudef.net TEL/FAX: 03-5414-7778 Email: info@mudef.net



Child Friendly Projectとは

Child Friendly Project(チャイルド・フレンドリー・プロジェクト)は、UNICEFが提唱する「子どもにやさしい学校(Child Friendly Schools)」の概念に賛同して行われるプロジェクト。アフリカやアジアの子どもの教育支援を行います。

目次:

「子どもにやさしい学校」とは 1

これまでの活動

2

東ティモールでのプロジェクト 3

「子どもにやさしい学校」とは

「子どもにやさしい学校」とは、子どもが楽しく通え、かつ学習の成果が出る学校づくりを進めていこうというコンセプトです。「子どもにやさしい学校」は、次の5つの要素を満たします。

- 全ての子どもを排除しない「非差別」 であること。
- 学習のために効果的であり、きちんと 成果を出せること。
- 健康的で保護的であること。
- ジェンダーに配慮していること。
- 子ども・家族・コミュニティが協力 し、参加すること。

「子どもにやさしい学校」を推進する活動では、教材やスポーツ道具の提供から、カリキュラム開発、先生の研修、保健、水やトイレの設備、保護者会や教育の啓蒙活動を含めた総合的な支援を行います。



東ティモールの子どもたち

Child AFRICAは、このChild-Friendly Schools の概念に賛同して、2008年の設立以来、Child-Friendly Projectを推進してきました。「子どもにやさしい学校」の考え方を広く紹介するほか、ユニセフがアジアとアフリカで実施している「子どもにやさしい学校」づくりのための幅広い活動をサポートする活動を行っています。



募金活動、寄付付商品の 販売を通じて得た収益は、 ユニセフが東ティモールで 実施する教育プロジェクト に活用されました。



Art for Africa!実施の様子



Art& Cook for Africa募金活動実施の様子

これまでの活動

2008年度Child Friendly Projectでは、 オリジナルのメロンパンダ商品の開発と 販売、モバイルサイトでのオークション 事業及び募金活動を実施。

これまでに総額2,499,850円のご寄付が 集まりました。 集まったご寄付は2009年7月2日付で (財)日本ユニセフ協会を通じ、ユニセフに寄付されました。

この寄付は、ユニセフが東ティモールで実施する「基礎教育と教育の場での ジェンダー格差解消プロジェクト」の 活動資金として役立てられました。

Hand to Hand Campaign 合計金額: 1,126,742円

2008年12月-2009年2月までのMISIAコンサート ツアー『THE TOUR OF MISIA DISCOTEQUE ASIAにてチラシを配布、募金活動を実施。

CFP指定商品販売 合計金額: 100,800 円

「Melon Panda Supports UNICEF's Child Friendly Schools Project」が記載されたステッカーを貼った商品を販売。売上一個に付き360円が寄付された。

一般寄付

合計金額: 731,518 円

銀行やゆうちょ銀行口座を通じていただいた個人・団体の皆様からのご寄付。 (2008年10月1日~2009年6月1日)

Yahoo! ボランティア壁紙募金 合計金額: 540,790 円

Yahooが運営するボランティアサイトで実施した壁 紙募金の収入。

(2008年12月3日-2009年3月31日)

yahooボ ランティア 壁紙募金 540,790円

> 一般寄付 731,518円

Hand to Hand Campaig n 1,126,74

2円

CFP指定 商品販売 100,800円





東ティモールでのプロジェクト

2008年度のCFPで集められた寄付は、ユニセフが東ティモールで実施した、「基礎教育と教育の場でのジェンダー格差解消プロジェクト」の活動資金の一部として役立てられました。

東ティモールは、世界でもっとも若い国です。2002年の独立後も政情の混乱が続いており、教育を取り巻く状況も、決して十分なものではありません。成人識字率は2007年の時点で50.1%(Human Development Report 2009, 2009)。長く続いた政情不安のために、教育制度や教育施設が損なわれてしまっており、就学率が69%と低いこと、また子どもの学習達成度が低く、留年率が高くなってしまっていることが問題となっています。

この主な原因としては、家庭が子どもたちに教育を受けさせる金銭的余裕がない、保護者が教育の重要性を理解していない、学校が遠く、通学に時間がかかりすぎる、教員が不足しており、また教員のための研修なども不十分なので、子どもに質の高い教育を受けさせることができない、といった

ことがあげられます。

こうした状況を受け、このプロジェクトは東ティモールの子どもたちの教育へのアクセスを改善すること、就学率を向上させること、退学率と留年率を減少させることを目標に、ユニセフにより実施されました (実施期間:2009年1月1日~2009年12月31日)。

プロジェクトでは、主に①教育の充実に 必要な政策を整えるための政府や関係機関への働き掛け、②学校授業のカリキュ ラム策定、の二つの活動が行われました。



東ティモール「基礎教育と教育の場でのジェンダー格差解消プロジェクト」実施報告書は mudefウェブサイトからご覧いただけます。

→http://www.mudef.net

世界で最も若い国、東ティモール。

政情の混乱で壊された 教育の基盤を再び整える取 組が続いています。



東ティモールで使用されている教科書



授業中の様子



支援を受ける学校の校舎